

第2回都市交通協議会 議事概要

日時

平成23年3月16日(水) 午前10:00~

場所

刈谷市役所1階101会議室

出席者

会長及び委員 計17名(欠席2名) 事務局8名 その他出席者7名

議事

- (1) 共生ビジョン他について
- (2) 刈谷市の都市交通ビジョンについて(再整理)
- (3) 市民参加の手法について
- (4) その他

主な指摘事項と対応等

- (1) 共生ビジョン他について
- (2) 刈谷市の都市交通ビジョンについて(再整理)

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
1ページの「にぎわいのあるまち」という目標像のアウトカムが「70%以上の市民が刈谷駅周辺に活気や魅力があると感じるようになる」となっているが、移動環境を改善することとまちなかのにぎわいは直接結びつかないのではないのか。	交通戦略の中でまちなかのにぎわい創出を支援していくことが今回の戦略の1つの狙いだと考えている。道路空間の再配置など、まちづくりと一体的にやっていくことによりまちなかのにぎわいを創出することが最終的な目的であるため、ここに掲げさせていただいている。
思いはわかるのだが、例えば「にぎわいのあるまちづくりを支援する」という言い回しの方がよいのではないのか。	その辺については、我々道路課が交通の分野を中心にしながら、商工課や都市計画課と協働する形で進めていきたいと考えている。また、道路空間の再配分については、桜町でカリアンナイトという飲み歩きのイベントを実施させていただいているということもあるので、刈谷駅前線を通行止めにするなど、そういった試みも可能性として検討していきたいと考えている。
基本理念では交通を今後どうしていくべきかという指針を掲げており、目標像では交通を基本理念に基づいて変えていくことでまちを今後どうしていくべきかを掲げている。そのような解釈でよいと思う。 ただし、本計画は「都市交通体系のビジョ	

<p>ン」としているので、「基本理念を通じて目指す目標像」とした方が適切である。また、アウトカムは目標像を示すものなので、表現を変える必要がある。</p>	
<p>「戦略 生-6 地域が主体となった地域の生活ニーズに応じた移動手段の確保」は刈谷市の特性には合っていないのではないかと。</p>	<p>今は道路をつくるにも、バスにしても行政中心で動いているところがある。将来的にはバスのあり方を見直す必要があり、地域の方も巻き込んだ形で地域公共交通会議等の協議の場を設ける必要が生じてくる。そこで今回は、「地域が主体となった地域の生活ニーズ」という形で記載させていただいた。</p>
<p>ここでは公共交通が前提になっているが、コミュニティサイクル等もあり得るのではないかと。また、豊田市では地域会議という地域自治区のそれぞれの会議があり、交通の話題が多く挙げられおり、それを施策あるいは市民参画に結びつけることをやっている。もし刈谷もそれに近い状況なのであれば、戦略 生-5、生-6 に書いてあるような方向へ導くことができるかもしれない。</p> <p>その辺は、刈谷に住んでおられる方にお伺いしたい。</p>	<p>公共施設連絡バスを地域の方にもっと利用していただけるよう、バスのネーミングを見直すことから始まり、地域の意見を取り入れていくことが重要だと思う。現在利用している人がどういう目的で利用しているのかなど、そういった利用実態を把握した上で、自主運行の可能性や、有料か無料という料金の話も含めて今後バスの見直しを検討していければよいと考えている。</p>
<p>公共施設連絡バスを乗っていて思うのは高齢者、障害者の利用が多いということ。また、駅前に駐車場がないのでパークアンドバスライドで利用している方や、無料だから乗るという方、駅前のバローで買物する方もいる。不満の内容としては、行きはいいが帰りが難しいなどの意見がある。</p> <p>今後は刈谷市でも高齢者の方が増えていくと思うので、そういった方々の足がわりになるような連絡バスとして運行していただきたい。</p>	

<p>10 ページの市内南北軸のイメージでは南北軸が2本通っているが、その必要性なり根拠はどういうところにあるのか。</p>	<p>現状では、公共施設連絡バスの東境、西境線の2本が南北に走っている。南北に1本通せば、その軸に対して皆がアクセスできるという市街地の分布になっていないこともあり、2本としている。また、この先検討しなければならない話になるが、企業間をシャトルで走らせるケースなども考慮し、今ある2つの南北軸を活用したイメージ図としている。</p>
<p>現段階では、P.10 のイメージ図は誤解を招きやすい。まだ議論が及んでない部分があるので、もう少しイメージを抽象化した方がいいと思う。</p> <p>戦略 生-6 については、「地域が主体」の「主体」という言葉が強すぎるため、「参画」という言葉の方が適切である。また、生活の戦略 1、3、4、5、6 は交通ネットワークに関する内容なので1つにまとめた方がよい。</p>	
<p>9 ページの自転車ネットワークについては共生ビジョンが考慮されているが、バスのルートについても共生ビジョンを踏まえて検討していくこととしているのか。</p>	<p>事務局としては、当然踏まえていく必要があると考えている。定住自立圏は刈谷市が中心市として位置づけられていることもあるため、刈谷市にあるものは他市町の方に使ってもらえるよう、バスについても定住自立圏を踏まえたルート等の検討を進めていくと聞いている。</p>
<p>私のなかでは、10 ページの南北軸には高浜市も視野に入っている。また東浦町については、「う・ら・ら」が刈谷市に既に乗り入れていることもあるので、今後も拡充していければよいと考えている。東浦町も南北軸として位置づけていただき、10 ページに追加していただきたい。</p>	
<p>名鉄バスの路線は、刈谷市では刈谷・愛教大線のみとなっており、刈谷市の人口規模に比べて路線数がとても少ないといえる。</p> <p>その中で、名鉄バスと無料で走っている公共施設連絡バスの役割分担を明確にする必</p>	

<p>要があると思う。または、企業バスも含めたすべてのバスを見直すということで、一度白紙にするという方法も考えられる。実際に、公共施設連絡バスと刈谷・愛教大線でも競合している区間があることから、このあたりをどう考えていくのかが気になる点である。</p>	
<p>刈谷市の実情をみると、買回り品等で東浦町のイオンへ買物で流出している方が多い。また休日では、東浦町のイオンと刈谷を結ぶ平成大橋を、普通では考えられないのだが、自転車や徒歩で渡る方が多い。そういった切っても切れないつながりが市町間で生じているなかで、現実のつながりを定住自立圏でも大切にしていきたい。</p> <p>共生ビジョンで自分の市域だけに留まらず、一連として地域が発展するような考え方を計画に取り入れていきたい。</p>	<p>刈谷市は知立市を取り巻く形で市域ができていたので、知立市を取り込んだ形で道路計画なり交通計画ができると考え方が変わってくると考えている。定住自立圏がいいタイミングで上がってきこともあるので、知立市や高浜市、東浦町と生活圏を補てんするような広がりを持ちながら、今後のビジョンを描いて行ければよいと考えている。そういう形で皆さんにご協力いただければと思う。</p>
<p>P.23 のアンケートをみると、不満の高い項目として1番が「バスなどの公共交通の便利さ」、2番が「刈谷駅周辺の整備」で次いで3番に「生活道路の整備」となっている。「幹線道路の整備」よりも不満の割合が高い「生活道路の整備」については、交通協議会のなかでは生活道路をよくしていくという取り組みは入っていないのか。</p>	<p>ここで言う生活道路は地域密着型の道路、都市間ではなくて、集落と集落を線で結ぶぐらゐの道路として定義している。地元からの要望道路ということで、この道路を広げてほしいとか、ここに道が欲しいと言われるような道路が一般的には生活道路である。その点については、要望がまとまってきても、工事が追いついていかないというか、買収が追いつかないとなどの理由で進んでいかないことがあり、不満につながっていると考えられる。また、生活道路の方へ話を踏み込んでしまうと、車が集落のなかへ流れるという問題も起こることから、この都市交通戦略の中では幹線道路を対象としている。</p>
<p>委員の指摘した話は戦略の生-2の自転車・歩行者ネットワークに該当する。生活道路の主な利用は自動車ではなく、自転車や歩行者であることから、そういう解釈でみていただきたい。</p> <p>本日の議論をまとめると、資料2の目標像の表現及びアウトカムの位置・表現の修正を</p>	

検討いただきたいということと、基本方針の中にある戦略については、部分的に整理をする必要があるということが修正点として挙げられる。

また、今回の「戦略」は「戦術」に該当すると考えられる。戦略の大事な部分はどういう戦術をとり、目標を達成するかというところであるため、そういう見方で再整理いただきたい。

(3) 市民参加の手法について

主な意見

オープンハウスは、皆さんにどうすればわかってもらえるかということを考えるきっかけになると同時に、市のやっていることを認識いただける大事な広報の場となる。また、懇談会だと皆さんに参加いただける時間に設定するのが困難という点も踏まえ、オープンハウスをぜひやってみたいと思う。

オープンハウスを実施するときには、できれば朝から晩まで、あるいは休日でも見ることのできるような場として設定していただきたいと思う。

人を集めるのは単独イベントだと難しいと思うので、他のイベントなどに合わせて実施できるとよい。この件は、事務局側で工夫していただきたいと思う。